

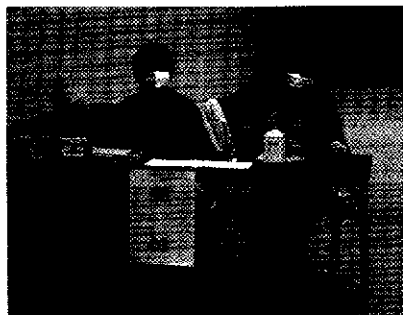
令和元年度における主な

動 内 容

- 4月6日(土) 第1回役員会(原則毎月第1土曜日午前中、津図書館2F 研究会議室にて)
- 4月17日(水) 平成31年度谷川士清の会総会資料作成 センターバレスにて
- 4月21日(土) 平成31年度谷川士清の会総会 津図書館2F 研究会議室にて
- ①30年度事業報告・決算報告 ②31年度事業計画案・予算案(審議と承認)
- ③会則の一部改正と役員改選(一部)紹介 ④質疑応答その他
- 受付で年会費(2,000円)徴収、「まなびの葉」第8号・会報「たまむしの森」第20号を配布
- 5月10日(金) 士清まつり(9:30~12:00) 士清旧宅、参加者26名
- 第1部 講演「葉草について」 講師:南寿氏(南漢方薬局)
- 第2部 お茶会(馬場幸子顧問と会員) 一般の方は呈茶券300円(記念品配布)会員は無料
- 第3部 史跡巡り
- 会員勉強会 全5~6回(6月~2月の第3土曜日に開催)
- (一)①6月15日(土) ②8月17日(土) ③9月21日(土)
- 講師:片山武氏(会員・元金城学院大学教授) 『和訓栞』の中の万葉歌について
- 『和訓栞』の見出し語により、士清の万葉集中の語彙理解について考察。(連続講座、8年目)
- (二)④12月21日(土) 講師:馬場幸子顧問 『勾玉考』その3
- ⑤2月15日(土) 講師:小野春菜会員(清泉女子大学非常勤講師) 『倭訓栞』の振仮名
- 7月20日(土) 親子洞津谷川塾 於:谷川士清旧宅(津市教育委員会・主催)
- 津市内の小学4~6年生と保護者(11組)
- 7月28日(日) 津なぎさまちフェスタ(午前・午後、紙芝居上演)
- 10月12日(土) 津まつり(紙芝居上演予定のところ台風接近のため中止)
- 谷川士清の会発足20周年記念講演会(会員募集及びボランティアガイド養成講座を兼ねて)
- ①10月5日(土)13:30~15:00 参加者49名
- 「谷川士清先生と日本書紀」
- 講師:松本丘氏(皇學館大学教授)
- ②10月6日(日)10:00~12:00 現地ガイド研修 参加者10名
- ③10月19日(土)13:30~15:00 参加者17名
- 「あなたもボランティアガイドしませんか」
- 講師:山本晃氏(津観光ボランティアガイド・コーディネーター)
- 11月9日(土) 三重刑務所「第33回矯正展」にて紙芝居上演
- 11月23日(土・祝) 新町フェスタ参加(葉草茶のふるまい)
- 1月18日(土) 谷川士清の会新年会 津駅前、松重にて 11:30~13:30
- 2月28日(金)~3月1日(日) 「ことすが書道コンクール」作品展示
- (津リージョンプラザ3F 生活情報室展示場、津市教育委員会と共催)
- 3月1日に予定の表彰式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止



書道コンクール参加賞の缶バッジ製作



コンクール会場入り口では、感染症対策のため、マスク着用と消毒薬の準備



展示を終えた作品を返却するため、個々に切り離す等、後片付け作業

令和元年度 谷川士清の会 ガイド活動

奥田 榮子

月 日	項 目	案内人数	ガイド担当者(順不同)
5月5日(日)	道の駅 紙芝居	不特定	山越、奥田
5月10日(金)	士清まつり	40	池村、佐野 ^高 、藤井、山本、萩野、馬場、尾市、別所、伊東 ^哲 、伊東 ^剛 、山越、奥田
5月19日(日)	近鉄ウォーク定点ガイド	277	池村、山越、山本、藤井、尾市
6月27日(木)	いがまちふるさとサークル	20	佐野 ^高
7月20日(土)	親子洞津谷川塾	24	池村、奥田、佐野 ^高 、山越、谷口、藤井、山本、別所、萩野、馬場
7月26日(金)	橋南公民館講座 ウォーキング	30	池村、山越、山本、奥田
7月28日(日)	津サイクリング協会	30	佐野 ^高 、伊東 ^哲 、伊東 ^剛
"	なぎさまちフェスタ 紙芝居	不特定	池村、奥田、佐野 ^高 、山越、山本、別所
8月11日(日)	道の駅「津かわげ」紙芝居	不特定	奥田、山越、別所
8月23日(金)	皇学館大学教育学部ゼミ生	10	池村、佐野 ^高 、奥田
9月19日(木)	新町小学校4年生(教員4、校長先生)	90	奥田、山越、山本、佐野 ^高 、藤井、萩野、伊東 ^哲 、池村
10月6日(日)	ボランティアガイド現地研修会	10	池村、別所、山越、萩野、佐野 ^高 、藤井、馬場、尾市
10月9日(水)	白山公民館講座「地域再発見講座」	25	池村、山越、別所、奥田、萩野、山本
10月26日(土)	養成講座ガイド	10	池村、山越、伊東 ^哲 、伊東 ^剛
11月9日(土)	刑務所矯正展 紙芝居	36	池村、山越、別所、奥田、尾市、山本
11月17日(日)	生涯学習フェスティバル 紙芝居	不特定	山越、別所、山本
11月22日(金)	敬和公民館講座	11	奥田
11月23日(土)	新町フェスタ	不特定	佐野、奥田、別所、尾市、萩野

(おくだ・えいこ)



ボランティアガイド研修参加報告

別所 富貴子

① 2019 ボランティアガイド現地研修会「白山」に参加して (令和元年7月2日)

活発化した梅雨前線の影響で九州各地に大雨が長時間続き、浸水被害が出ました。

7月2日(火)現地研修会「白山」が挙行された日も朝から雨模様、カーナビを頼りに「リバーパーク真見」に到着。総勢約60名が「真見集落センター」に集合しました。白山道しるべの会より「リバーパーク真美」の取り組みで、山村振興事業の一環として水辺公園を合わせた貸棟、貸園、グラウンドゴルフ、パーベキュー等が楽しめる施設の話がありました。2班に分かれ、ウォーキング開始。

まず、家城ラインに設置された1個所の頭首工の説明。幹線水路や分水工等の施設が約7kmにわたって設置されて、生活用水や防火用水として地域の人々の生活に役立っているそうです。

暫く傘をさして歩いている内、雨も止み、山添いに登り坂を傘を杖換わりとして汗を掻きながら歩いて、やっと「蓮の棚田」に着いたところで、二俣区美化推進委員会の中森勝氏による説明と冷茶のサービスを受けました。

白山町二俣という地名は、青山町と美杉竹原方面への分岐点に立地することに由来。2016年から自治会住民が休耕田を棚田5反(計約5000㎡)に整備し、蓮を約50株植え、2018年には、一面に葉が茂り、次々に紅、白、黄色の花を咲かせたそうです。

「この棚田を多くの人に知ってもらい、楽しんでもらいたい」と熱い思いを語られました。スイレンの葉は切れ目があり、蓮の葉は切れ目が無いのが見分け方との事。見事に咲いた大輪の蓮の花は、疲労を忘れさせてくれました。

根(レンコン)と種子は食用。先日、高田本山茶店で白いコロコロした蓮の実の入った“蓮の実ぜんざい”を頂いてきたところ。棚田の一番高い所で記念撮影。涼しい風が、心地よく顔を撫でていきました。

帰り道は下り坂で、メガネ橋の様な二雲橋から雲出川を見下ろすと、川口井旧跡の水路や柱穴があり、工夫して水路の側壁を造った跡を見る事が出来ました。その後、川添いに歩いて行くと、中流部の瀬戸ヶ淵で様々な奇岩があり、渓谷美を堪能させてくれました。

南家城川口井水は家城ラインから取水し、下流の津市白山町の南家城地区と川口地区の農地を潤しています。寛永7年(1630)、300mにわたり鑿で削り取って水路の拡張工事が行われ、その記念碑が残っています。寛文4年(1664)、藤堂藩、山中為綱が治水工事をを行い、「河口井」を造り、享保14年(1729)、南家城井と河口井の二つが連合し、今日の南家城河口井水に至っているという事です。

先人の知恵と行動力による功績に感動し、後世に伝承されていく事を願いつつ、研修会を終えました。

② 先進地研修旅行「新城市設楽原ボランティアガイド」の会との交流（9月5日）

参加者79名は、2台のバスに分乗し、早朝出発。しかし、昨日からの集中豪雨で桑名、四日市の道路は、通行止めになった為、進路変更。車中では各ガイド会が活動、情報等を話し合いながら、名神高速で現地へは約2時間遅れの12時に到着。設楽原ガイドの方々も2時間待機して頂き、午前中の予定行動は出来なくなりました。

新城観光ホテルに到着後、車中で引いた座席のクジでグループに分かれて食事し、部屋を移動して交流会を行いました。発足4年目の設楽原ガイドの会、少人数ながら熱心さと活動力に感心。“一期一会のおもてなし”を目標にされ、毎年8月15日に信玄塚で催される「火おんどり」に先だって行われる竹広の盆踊りで唄い踊り継がれる「竹広火おんどり数え歌」が会員によって披露されました。又、津市の13団体によるネットワークの成り立ちや組み立て方法についての質問もあり、津観光ボランティアコーディネーター山本晃氏がホームページの作成・連絡方法・月1度の連絡会・ガイド養成・津ふるさと学検定で団結力アップした事・助成金等について応答されました。

其の後、約2.5kmもあったとされる馬防柵再現地を案内され、信長の鉄砲隊が火縄銃を戦術に用いた柵が二重、三重に構築された事や、設置された柵の前に果敢に挑戦するも敗北した武田軍騎馬隊の攻撃の様子等を描写した成瀬家版「長篠合戦屏風図絵」の解説も受けました。

長篠城跡に移動し、要所にガイドが配置された跡地を自由散策。隣接された長篠城址史跡保存館を見学。1575年、武田勝頼軍対織田信長・徳川家康連合軍の長篠城奮還戦は“鉄砲の戦い”といわれ、鉄砲、甲冑、槍、血染めの陣太鼓、磔に散った鳥居強右衛門の様子も展示され“天下を目指した若武者たちの夢の跡”を鑑賞し、戦国の流れを大きく変えた戦いを学ぶ事が出来ました。

(べっしょ・ふきこ)



「こかなし」小考

山本 浩子

2月の15日「土清の会」の勉強会があって、清泉女子大学で教えておられる小野春菜先生のお話を興味深く聞いた。語釈の漢字にある右側、左側のフリガナについて知った。私共にも理解できる言葉を選んで話され、久しぶりの知的好奇心を抱いた。

見出し語「こかなし」にある説明の中に「コカ」「トキハカキハ」「ツブテ」の振仮名があった。

「こかなし 雪梨をいふ、肥前高来郡の空閑の産をもて名とせる也といへり」とある。「実が丸く色が少し赤い」ナシであり、「空閑」(コカ)という所に産するから「こかなし」というとある。果物のナシ、津市の久居の辺りでは「ありのみ(有りの実)」と言っていたと思ひ出す。

その次にこれはプリントに省略されている部分だが、

「○世諺になしもつづてもといふ事は婚嫁をいやしめて、つづてをうちし事、梵書に出て、我邦の俗となり、後にはこかなしをもうつは嫉みて、子が無し(の)の義を取たるより起れりといへり、胎婦に梨子を忌て食はしめざるをも亦同じ、されど、本は子をうむ事をなすといふによりて梨子をうち常磐堅磐をいはひて、飛礫をもうちたるなるべし、つづての條考合すへし」(『菜』後編)とあって、この部分に興味を持った。

「こかなし」という文字列は私の中では意味に結びつかない。語釈を読んで「空閑(こが)に産した梨」と理解する。

「なしもつづても」は諺「なしのつづて」を強調する言い方であり、「梨」を「無し」にかけて、便りを出しても、先方からはさっぱり音沙汰のないこと(『広辞苑』)の意味であり、現在もよく使う。「なしのつづて」は嫁を卑しめて、小石で打擲することで「梵語の本」(仏教の本?)から伝わり、我国にもそういう風習があったが、後には同音の「子が無し」の意味に理解して使うようになったという。この部分、「世諺に…といへり」とあって文献からの引用であると思ひ、『世諺問答』をネットで調べてみたが、まだ探せずにいる。妊婦に梨を忌む、食べさせないのも「梨」が「無し」に通じるからである(忌詞)。けれども、本来は子供を産むことをなす(生す)の意味で、「梨を打ち、お祝いとして礫を打つ」というのであろうと、大体そういうことを書いている。

「なし」>「無し」>「梨」>「生し」と語の音通をもって意味を理解してゆく江戸時代の国語学、『和訓栞』の語源解釈の面白さを知った。

帰宅して文庫本の『言海』「こかなし」を調べてみた。

こがなし(名)〔肥前、高来郡、空閑(コカ)ノ産ナルヲ以テ名トスト云、或云、肥後、八代郡、古閑橋村ノ産ナルト、或云、熊澤了介、下総ノ古河ニ植工開キシモノト〕梨ノ一種、実ノ形、丸クシテ、皮ノ色ニ赤ミアルモノ。乳梨。

語源について肥前の「空閑」、肥後の「古閑橋村」、下総の「古河」と様々な説が引かれている。ともかくも、『言海』の作者が『和訓栞』を見ていたことがわかる。

(やまもと・ひろこ)

令和2年2月19日(水)の中日新聞に、鈴鹿の加佐登(かさと)神社に天皇陛下の即位を記念して「神宮遷拜所」が完成したとの記事が掲載された。その中に、三重は伊勢神宮に近いので遷拜所がある神社は多くないとのコメントがあった。日頃は、余り気にかけないが、土清さんの谷川神社には遷拜所があったなど境内を覗いてみた。南の角に、基台も含めて高さ2m余りの石柱で「遷拜所」があった。神宮とは銘打っていないが方角からすると伊勢神宮を拝することになる。右側面には「奉祝皇紀二千六百年」とあり、昭和15年の建立らしい。裏面には「山田庄次郎寄附」とある。

遷拜所の傍には、1mに満たない鉄製の角柱があり、ほとんど消えかけているが、「史跡 谷川土清墓」と読める。もう一面には「文化財をたいせつに」とある。もとは、福蔵寺の墓地の方に立てられていたのだろう。

他に何かあるだろうかかと振り返ると、手水舎の右に高さ70cmほどのおむすび型の自然石でできた石碑があり、石碑の左右には松の若木が2本立っていた。ひっそりとしているので、余り人の目を引かない。ともかく石碑に刻まれた文字を読むと、「さんも末川(まつ)」とある。設置年や由来はどうなっているのかと石碑の周りを見てみると、裏に歌らしきものがあった。

大きくて深く彫られた文字は簡単に読めるが、小さくて細い文字は風化もあって容易には判読できない。デジタルカメラで撮影してパソコンで処理することにしたが、横から光がさした方が読み易くなるため時間を変えて撮影したり、懐中電灯を使ったりした。が、余りうまくゆかなかった。石の模様が邪魔をしてどうしても判読を困難にするのだ。結局、厚目の書道用紙を碑面に押し当て指で圧力をかけながら文字面をなぞるという墨を使用しない拓本になった。墨を使う方法に比べて二度手間になるが、これだと粘土などを使う方法に比べても石碑を汚さずに済み、家に帰ってからゆっくりと解説することができた。部屋の片隅に凹凸のできた用紙をぶら下げ、それを斜光で陰影を浮き上がらせて撮影すると、石の斑点模様など余分な情報がなくなり解説が楽になった。

最初から簡単に判読できた大きい文字というのは、「古き世の」、「押加部」、「末川(まつ)」、「名」、「残して」くらいで、そのうち「古き世の」と「押加部」の2つから、「押加部」の地において土清と因縁のある「古世子神社」のことをうたったものかと漠然と思っていたが、解説の結果や他の資料からするとちょっと違っていた。

『くずし字解読辞典』やインターネットでは、「AI手書きくずし字検索」www.ai-kuzushiji.net などを利用しての解読結果は以下のとおりになった。

古き世の 多免(ため)しを此處耳(ここに) 押加部や
ミ毛(みも)との末川(まつ)の 名越者(をば)残して

歌では「押し込めて」の掛詞になっている地名の押加部からも何かわかればと地名辞典を覗いてみた。『角川地名大辞典』(Jlogos 所収のオンライン版)の「刑部村(近世)」の項には、この地(刑部、押加部)の神社、古世子明神社とともに福蔵寺についても記述があり、もとは安濃川寄りにあって、津城拡張にあたり現在地に移転したとのこと。山門の前に松の木があり山門松と呼んでいたが、これが訛ってその付近が通称「三本松」と呼ばれるようになったとのこと。今も、三本松橋、バス停「三本松」にその名前が残っている。現在の福蔵寺との間に大きな道路が通っているため、同じ町とは思えないが、どちらも押加部町である。

石碑の歌にある「みもとのまつ」と、この地名大辞典にある「三本松」からすると、石碑の歌は古世子明神についてのもではなく、福蔵寺の山門前に植えられた松に由来する土地のことを歌ったものであることになる。福蔵寺の現在地への移転後、三本松と呼ばれた古き世の例しを後世に伝えるため、かつての通称「三本松」の地に石碑は建立され、その後、また時期が経ってこの地に移されたものとみえる。

石碑の左右に松が植えられている訳も納得がいった。また、目視だけで解読したおもて面の文字を「さんもまつ」と読んだのは間違いで、「さん本まつ」が正しいのではと考え直した。『五體字類』の変体仮名「ほ」を見てみると、藤原佐理による「本」の字の終筆部のカギ状になった点を取ると平仮名の「も」になる。石碑表面の該当する部分にカギ状になったところがあるか、あらためて裏面の時と同じように書道用紙を当てて指でさぐってみた。もしあれば、「も」ではなく「本」ということになる。

すると、該当箇所におそらくへこみがあり、白く石化した表面を爪を立てて少し強く擦ると、ぼろぼろと剥がれてきたので、泥の一部を掻き出すことができた。カギ状の点となるところに粘土状の土が埋まっていたのだ。何時、誰が埋めたのかわからないが、「本」の字であることが確認できた。

本来の地から移されてきて、ちょっと肩身が狭そうで目立たない「さん本まつ」の石碑であったが、おもて面だけでも白い塗料などで刻字に墨入れすることで、少しは見栄えのする石碑になるのではないかと思った次第である。

(はぎのみつあき)



歳旦祭に参列して



奥田 榮子

今年初めてご縁により谷川神社の歳旦祭に参列させていただきました。元旦の心引き締まる思いで神社に到着すると、すでに何人かの皆さんが三々五々集まって来て和やかに新年のご挨拶を交わしていらっしゃいました。ガイドでお世話になっている奉賛会の方々や新町小学校の校長先生のお顔が見えて心強く思いました。

10時の開式を待つ境内に太陽の光が暖かく射し、今年は何か良いことが待っているかのような期待感がふくらみました。境内に並べられた椅子に指定された順に並び開式を待ちました。

奉賛会のみなさんのご奉仕により準備万端整えていただき、紅白のお餅も用意されていて有難く頂戴してきました。国魂神社の宮司さんの祝詞で式が進み、テープの雅楽の流れるなか、土清の会を代表して玉串を捧げました。宮司さんの丁寧な所作を真近かに拝見しながら敬虔な思いに浸りました。土清さんがとても身近に感じられ、良い経験をさせていただいたと感謝のひと時でした。境内での式もあまり寒さを感じる事なく無事にお参りさせていただけた喜びで胸が暖かくなりました。

昨年土清さんのご命日の10月10日、福蔵寺でご住職(鈴鹿のお寺と兼務)と安濃のお寺のご住職のお二人により法要が執り行われました。私にとっては初めての法要で池村代表、別所副代表、山越会計のみなさんとお参りさせていただきました。本堂での手厚い法要のあと、やぶ蚊の飛び回るなか、ご丁寧にお墓勤めもいただきました。法要のあと、近々ご本尊の薬師如来坐像を拝ませさせていただきました。黒々とどっしりとしたお像で眼を見開きわれらをじっとご覧になっているようで少し恐れをいただきました。医者であった土清さんの菩提寺に相應しいご本尊だとの思いを強くしました。その後、膝を突き合わせあれこれお話を聞かせていただきました。近々庫裏の襖の下張りを調べたいので協力して欲しいとお願いされました。

この様に神社の奉賛会の皆様や福蔵寺のご住職をはじめみなさんの土清さんに対する認識とご理解が少しずつ深まり、われわれ土清の会の努力が実ってきているようで嬉しく思うこの頃です。

(おくだ・えいこ)

Exhibition ことすが書道コンクール

ご挨拶

谷川士清書道コンクールが盛大に開催されましたことをお喜び申し上げます。新型コロナウイルスの影響により、残念ながら表彰式は中止となりましたが、今回も大変多くの優秀な作品が出品されたとお聞きしております。

さて、本年7月には新しい新町会館がオープンします。新町会館の外観は谷川士清旧宅をイメージしたのとなっており、「士清教室」と名付けた学習室を中心に谷川士清の魅力を、今後ますます多くの市民の方にお伝えいただけることを期待しております。

最後に貴会のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

(津市長 前葉 泰幸)

今年も谷川士清書道コンクールが開催されましたことをお喜び申し上げます。市内外から数多くの子どもの作品が出品されており、書道コンクールは郷土の偉大な先人について知る絶好の機会となっています。

また、新しい新町会館においては、谷川士清に関する資料や伊賀街道沿いの歴史・文化の感じられる展示を考えております。谷川士清旧宅にも近いことから、連携しながら地域の魅力を発信し続けていきたいと思っておりますので、今後も引き続きご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、貴会のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

(津市教育委員会・教育長 倉田 幸則)

稲垣無得先生講評

今年は津市内の小中学生から531点の応募がありました。

皆さんの作品は力作ぞろいで審査にずいぶん時間を要しました。

特に入賞者を決める段階では同じ作品を3~4日間、毎日のように何回も何回も繰り返し見てやっと決まりました。士清会の作品が年々向上していることは大変素晴らしいことだと感心しています。

審査の観点としては毎年同じことなのですが

- 1 元気よく伸び伸びと書かれているかということです。墨をたっぷり使って太く堂々とした作品は見る人に感動を与えてくれます。
- 2 一筆一筆最後まで丁寧に書かれているかということです。自分の気持ちを一枚の紙に集中させることで力強い文字が生まれ、又 根気力を養う精神修養につながります。
- 3 教科書に準じた基本的な筆遣いができているかということです。今皆さんが学校で習っている書写は正しく、美しくということが目的とされています。
- 4 名前の位置と大きさも大切な要素です。課題の文字がうまくかけていても名前がしっかりかけていないと大きな減点になります。

今回入賞された皆さんの作品はこのような要素が全て満たされていて最高に優れた作品であったと言えます。

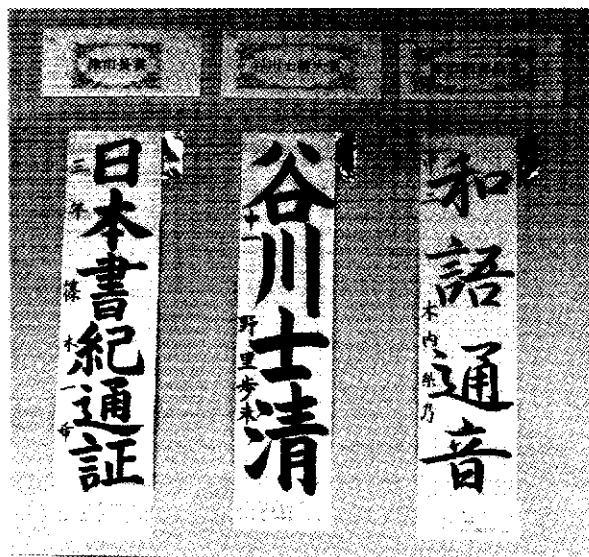
そう言った意味で皆さんは大いに自信を持ってください。皆さんの将来を期待しています。来年も又多くの方が出品して頂けることを楽しみにしています。

書道コンクール 紙上展



小学生の部 (三賞)

谷川士清大賞	八十島史琉	立成小 4
津市長賞	得平達仁	成美小 5
津市教育長賞	田中健翔	新町小 6



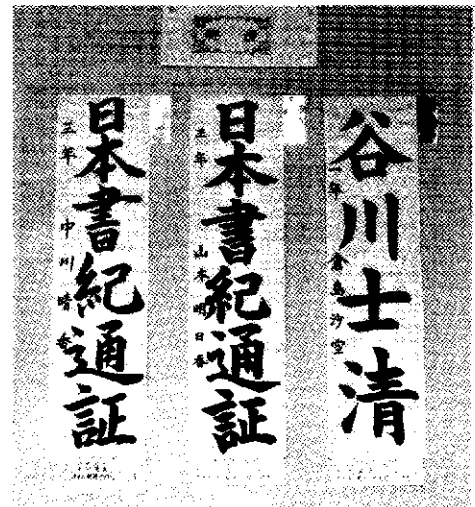
中学生の部 (三賞)

谷川士清大賞	野里歩未	白山中 1
津市長賞	篠木一希	朝陽中 3
津市教育長賞	木内梨乃	セントジョセフ中 2



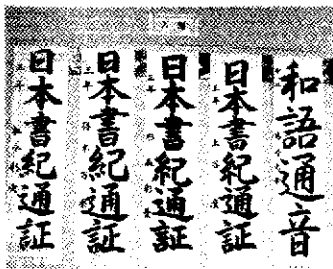
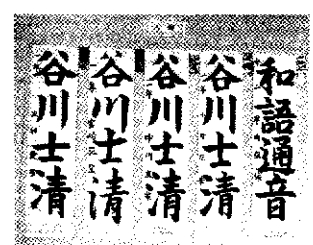
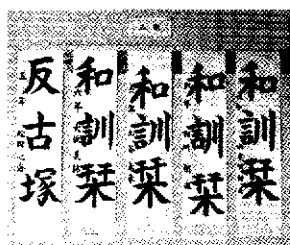
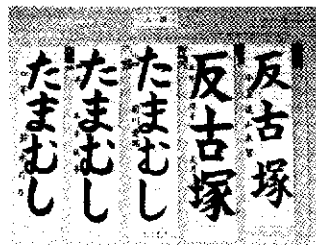
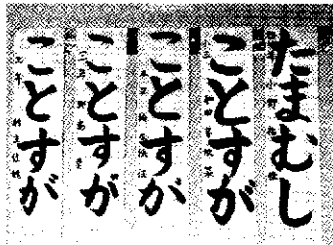
小学生特選

菊池ひなた 南立誠小3 河口絢香 片田小5
 日名子陽愛 千里ヶ丘小3 植田鈴愛 一身田小6
 吉岡紗希 西ヶ丘小4



中学生特選

倉島沙空 橋北中1
 山本明日香 三重大附属中3
 中川晴香 朝陽中3



小学生入選

村主佳穂 村主小3
 野島葉 豊津小3
 橋尾快征 栗葉小3
 和田芽依菜 養正小3
 小野祐佳 立成小4
 鈴木莉乃 新町小4
 平手綾華 立成小4
 前川愛結 豊が丘小4

小学生入選

櫻井美月 成美小5
 遠山大智 南が丘小5
 松岡心海 桃園小5
 大坂美結 片田小6
 土谷未来 桃園小6
 別所朔夜 修成小6
 山本明佑美 南立誠小6

中学生入選

三井愛弓 橋北中1
 宮崎花望 久居東中1
 中川友梨 朝陽中1
 小野花華 西郊中1
 早崎俊輔 橋北中2
 藤井未来 豊里中2
 土谷凜 久居東中3
 杉森彩葉 高田中3
 篠木万奈 朝陽中3
 松永彩愛 朝陽中3

Exhibition

ご応募いただいた皆様へ

「谷川ことすが書道コンクール」にご応募頂き有難うございました。今年のコンクールには 531 名の参加がありました。力作の応募状況と入賞作品のすばらしさの披露はできましたが、残念ながら「不測の事態」が起こり、表彰式は挙行出来ませんでした。9回を数えますコンクールの歴史の中で初めてのことであります。

紙面に、前葉津市長、倉田教育長のご挨拶、審査員の稲垣無得先生のご講評、入賞された方々のお名前と作品を掲載する形で表彰式の替わりとさせていただきます。

毎年、私は、表彰式での挨拶で「今日は皆さんは勝者です、大いに感動と喜びをご家族や関係者の方々と分かち合ってください。でも、長い人生、いつも勝つ、何が起こるか分かりません。そんな時、刻苦勉励して苦難を乗り越えて偉業を成したことが先生のことを今日参加賞としてお渡しする我々の手作りの缶バッジのことが先生のお顔を思い出して頑張ってくださいと申し上げてきました。今年の中止は、「思いがけない事」の一例かもしれません。もっと大変な事が起こらないとは限りません。でも、大丈夫。531 名の皆さんには谷川ことすが先生の「たまむし」(魂)が入りました。皆さんの栄えある人生の幸福を祈ります。

(谷川士清の会代表 池村 幸久)



新町小学校の4年生3クラスの児童たちに紙芝居や史跡案内を通じて、士清さんについて学んでもらったのが、令和元年9月19日(木)のこと。子どもたちなりに疑問に思ったことを熱心に質問し、メモをとる姿が微笑ましかった。

2ヶ月後の11月16日(土)には、父兄の人たちにも公開の学習発表会が行われ、6グループそれぞれの学びの相違を反映した報告がなされた。発表の仕方に種々工夫をこらしているのが印象的だった。

今回、郷土の偉人としての士清さんの学びを通じて感じたことや思ったことが、子どもたちの今後には何らかの影響を与え、成長の糧となっていきますように。

●●● 会員の消息・動静

2019.2.15

谷岡経津子さん(画家、四日市大学名誉教授)

三重県の文化向上に顕著な貢献をした功労者として、「三銀ふるさと三重文化賞」を受賞。

2019.11.22

馬場幸子さん(谷川士清の会顧問)

高校教師になると同時に点訳部をつくり、転勤先でも同様、点訳指導は現在まで52年。平成5年に点字絵本サークルを主宰し、作品は毎年、全国の盲学校に寄贈、ボランティア功労として「厚生労働大臣表彰」を受ける。

絵本でも文章のところは、3×2の6点からなる点字に点訳できるが、絵の部分は、質感や厚さの異なる紙や布・毛糸などで立体的に表現すること。最近の作品は、NHKでも放送中の「おしりたんてい」。

2019.12.6

若林信香(信子)さん(書家)

本会報「たまむしの森」の題字揮毫者。病氣療養中のとほろ、薬石効なくご逝去、享年66。

ご冥福をお祈りいたします。

令和元年度会員数 (令和2年3月15日現在)

● 一般会員 59名 ● 特別会員 以下のとおり (50音順)

- | | | | |
|-------------|----------------|-----------------|---------------|
| ① (株)朝日屋 | ② あーる工房 | ③ 井村屋グループ(株) | ④ 岡三証券(株)津支店 |
| ⑤ 共立印刷(株) | ⑥ (株)サイネックス | ⑦ (福)正寿会 | ⑧ (株)杉新衣裳店 |
| ⑨ (株)ZTV | ⑩ セントローズクリニック | ⑪ (学)高田学苑 | ⑫ タカノ商事(株) |
| ⑬ 谷川神社奉賛会 | ⑭ 中部電力(株)三重支店 | ⑮ (株)津松菱 | ⑯ (株)東洋軒 |
| ⑰ (株)百五銀行本店 | ⑱ 富士ゼロックス三重(株) | ⑲ (株)ふじや本店津光倫会館 | ⑳ (有)平治煎餅本店 |
| ㉑ (株)三重額縁 | ㉒ 三重交通(株)本社 | ㉓ (株)三重電子計算センター | ㉔ 三重ユニフォーム(株) |
| ㉕ 三重リコピー(株) | ㉖ ミフジ(株) | ㉗ (株)ムッシュ・コウノヤ | ㉘ (株)山口商会 |

//////// 編集後記 //////////

▼新型コロナウイルスが思わぬ形で猛威をふるい、移動の制限等で世界経済にまで大きな影響を与えている。遺伝子は持つが細胞膜がないため、生物学的には生物ではないともされるウイルス。そんな不思議なウイルスの一種のおかげで「ことすが書道コンクール」の表彰式中止になった。

▼小学校も臨時休校になり、騒動の中で何かとお忙しいところ、新町小学校の先生方には、学習発表会の写真掲載にあたり画像データの提供のみならず、子ども達の肖像権をクリアするための交渉までしていただいた。感謝至極。

▼昨年はワードで作成した「たまむしの森」の版面も、今年はイラストレーターでと、2月に入ってから無料の代替ソフトをダウンロードした。しかしながら、ひと通り機能を見てみるだけで、実際の使用に間に合わなかったのは残念である。(M.H.)